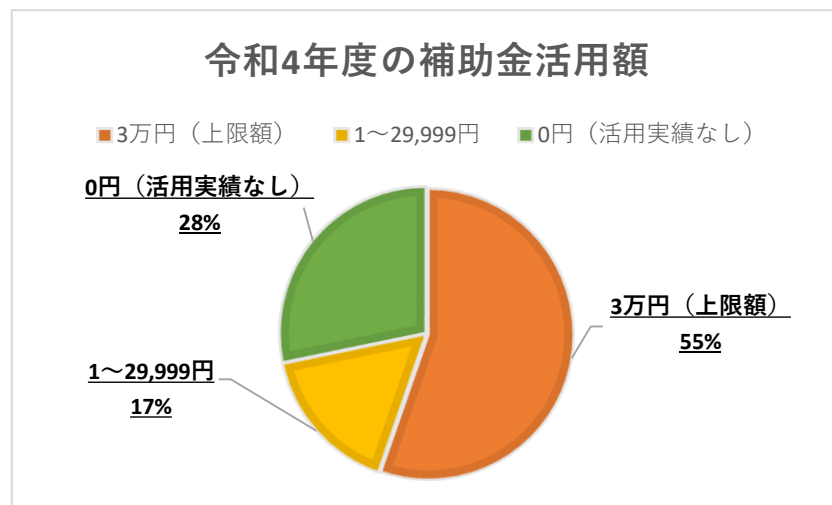


令和5年度避難所運営委員会活動支援補助金に関する調査 集計結果

問1 昨年度（令和4年度）の補助金活用額

	3万円（上限額）	1～29,999円	0円（活用実績なし）
全市	94	28	48
区別内訳			
中央区	21	6	6
花見川区	8	7	16
稲毛区	21	3	8
若葉区	5	3	13
緑区	15	5	3
美浜区	24	3	2

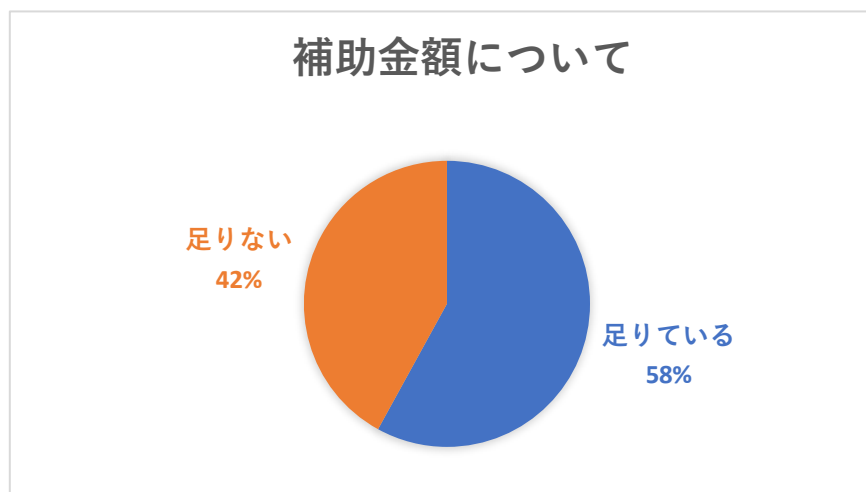


補助金活用して購入した主な品目

○携帯トイレ関係 12件	○訓練用品 21件	○避難所用備品 39件
○飲料・食料費 29件	○整理用品 22件	○その他 42件
○消耗品・事務用品 85件	○感染症対策用品 15件	
○印刷・通信費 63件	○衛生用品 12件	
○発電機・燃料 3件	○テント、簡易ベッド類 16件	

問2 補助金額について

	足りている	足りない
全市	87	63
区別内訳		
中央区	17	14
花見川区	14	13
稲毛区	17	9
若葉区	13	4
緑区	13	9
美浜区	12	14



足りない理由（主な回答）

○マニュアル改訂版の印刷に充当して、必要な物が購入できなかった。	○会議費用（飲料や印刷代）で補助金を使い切る。
○市が整備している備蓄品以外に必要なものが多い。（スマホ充電設備、腕章、文具、炊き出し用品など）	○感染症対策に必要な物が増えた。
○市立学校と比べて設備が不十分なので、独自に調達が必要な物品がある（跡施設、県立学校など）	○市の備蓄の発電機1台では足りない
	○活動を積極的に行うほど、必然的に費用がかかる。

問3 補助金を活用せずに（限度額を超えて）購入した品目及び金額（主な回答）

○印刷・書類作成費（11件）約3,000～58,000円	○ゴミ箱（2件）約3,000円
○文具・事務用品（5件）約3,000～7,000円	○食器類（1件）約4,000円
○会議用飲料（3件）約5,000～12,000円	○包帯、薬（1件）約3,000円
○衛生用品・感染症対策用品（4件）約3,000～8,000円	○トイレキット（1件）約25,000円
○ベスト（1件）約10,000円	○倉庫スペアキー（2件）約3,000円
○のぼり旗（1件）約4,000円	○工具類（2件）約7,000円
○充電器（1件）約34,000円	○訓練参加者用保険（1件）約20,000円
○避難所開設訓練用品（2件）約23,000円	○通信・交通費（1件）約33,000円

問4 補助金がたりないために購入を断念した品目 ※【】は同一品目の回答件数

炊き出し用品【3】、充電器【3】、ソーラーパネル（充電器）【4】、のぼり旗、印刷費【4】、衛生用品【2】
ペット用品【2】、給水用器具（ジャグ・ポリタンク等）【5】、携帯トイレ【5】、照明器具【2】、コードリール、暖房器具【2】、発電機【5】、感染対策用アクリル板【3】、無線機・トランシーバー【3】、ヘルメット【4】 防災用ベスト【3】、要配慮者・感染症対策用テント・間仕切り【7】、翻訳機、物置、リヤカー 資料作成等用のパソコン、車椅子スロープ、簡易ベッド・ダンボールベッド【3】